

防災研修

令和2年2月1日(土)

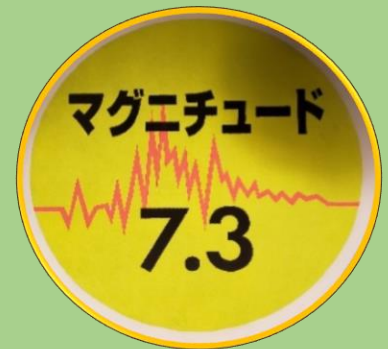
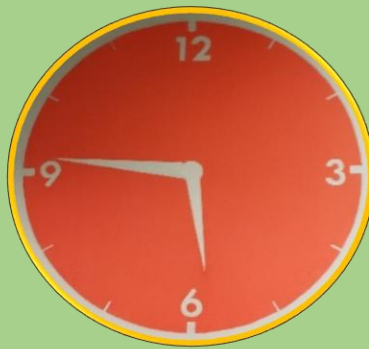
北淡震災記念公園(野島断層)

兵庫県広域防災センター(三木)

主催: 弥生が丘自治会防災部/弥生が丘自主防災会



総勢42名の参加者



野島断層保存館



国指定天然記念物野島断層

地震断層が横切る民家をメモリアルハウスとして保存
「地震直後の台所」の様子を再現





語りべさんによるガイダンス



ウエルカムボード



総合運動公園陸上競技場 観客席下の備蓄倉庫



あの痛ましい「阪神淡路大震災」から早25年が経過しました。ともすれば当時のことが忘れ去られようとしています。我々の住む西日本では今後30年以内にかかなりの確率で、「南海・東南海地震」が起こると言われています。地震をはじめ風水害に備え、私たち一人一人が、まずは「自分の身は自分で守る」(自助)という意識を持ち行動すること、又災害発生時は「近隣の住民同士の助け合い」(近助・共助)をすることが被害を最小限に(減災)にとどめることが出来ると確信します。

今回、多くの若い世代や子ども達も参加してくれました。大震災を経験した私たちは、災害に備えることの大切さを若い世代に確実に伝達していくことの大切さを、今回の2施設の見学・体験を通して、改めて認識してきました。

弥生が丘自治会 防災部/弥生が丘自主防災会

(参加者の感想・提案)

1	煙の部屋(注:煙道体験)から1分に出てこられた(小学生)
2	震度7の揺れは怖かった(注:起震車体験)(小学生)
3	陸上競技場観客席下に置いてある、防災備蓄品の種類・数に圧倒された。災害発生に備え、県民のために対応していただいていることにありがたく思う。ただ大災害発生時は皆にいきわたることは難しい水、食料、非常食等は各家庭でできるだけ備蓄するよう心掛けたい。又心がけるべきだ
4	たった1,000円の参加負担でこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。災害に備えての考え方が変わりました。毎年実施してほしい
5	講義にもありましたように、普段から近隣の方たちのお付き合いが非常に大事なことと思います。災害が発生したとき、一番頼りになるのがお隣さんだと思います
6	個人でなかなか行けないところです。今回参加できていろんな体験をすることが出来てよかったです。又、子どもなりに貴重な体験が出来たと思いました
7	淡路ハイウェイオアシスの食事代が高かった。ラーメンとかもう少し他のメニューがあれば・・・
8	災害を考える上でこの研修は大変いい企画です。参加対象者を班長、役員に限定せず会員の皆さん全員を対象にすればいいと思います。又、参加者の自己負担はもっと上げてもいいと思います。